

## 1-1 建物概要

建物名称	大阪府宮野三原台第2期高層住宅(建て替え)新築工事 1棟
建設地	南区三原台一丁3番1の一部
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2021年10月 予定
敷地面積	3,630 m <sup>2</sup>
建築面積	564 m <sup>2</sup>
延床面積	4,194 m <sup>2</sup>

階数	地上11F
構造	RC造
平均居住人員	242 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	
評価の実施日	2020年1月10日
作成者	株式会社ジャス
確認日	2020年1月10日
確認者	株式会社ジャス

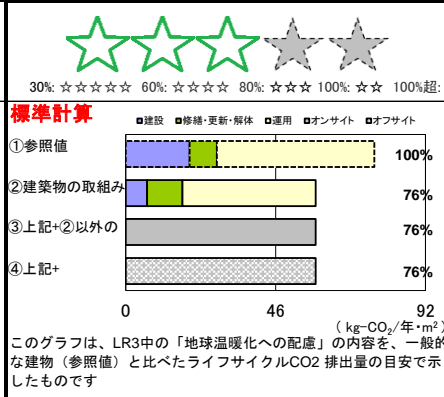
## 1-2 外観



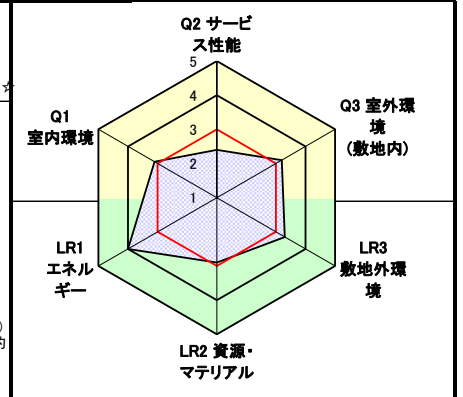
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



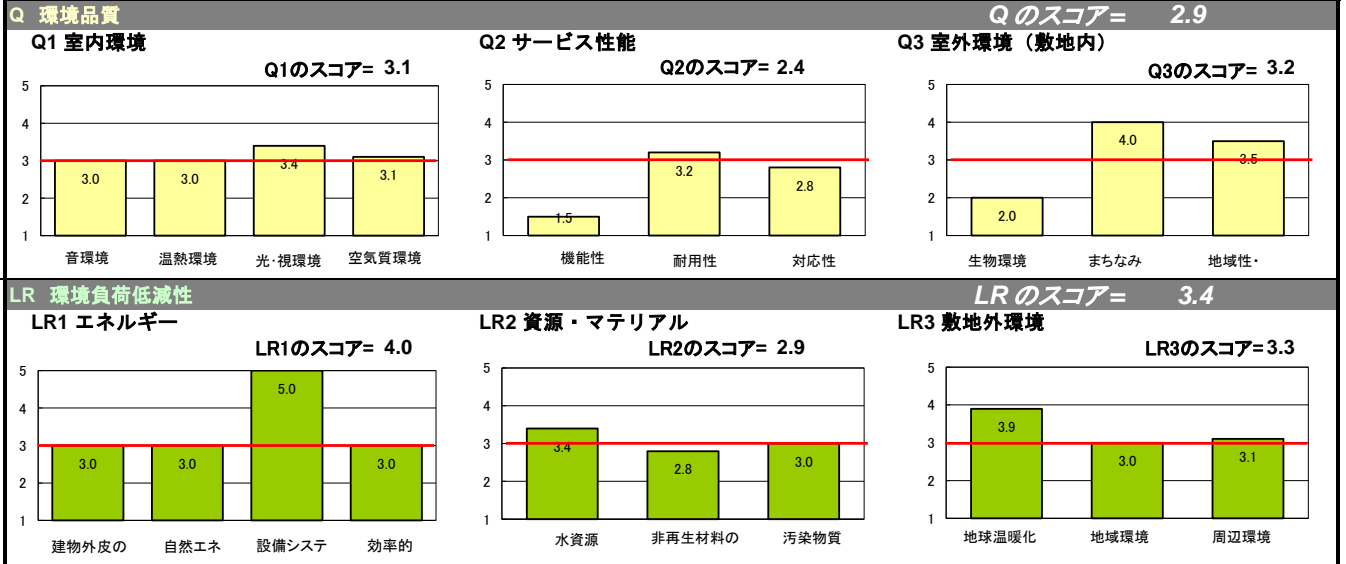
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、市道三原台2号線(幅員13m)に面しており、団地として統一感のある沿道景観を形成します。また、南西角は本団地のエントランスとなるため、団地の顔となるまちかどの形成を図ります。</li> <li>・設備配管は耐用性のあるものを採用すると共に、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明は、エントランス及び廊下にドライタイマー、メルクナーに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。</li> <li>・内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリューム感の軽減など地域の景観や居住性に配慮した計画とします。</li> <li>・植栽(シンボルツリー)やベンチを配置することにより、まちかどにゆとり空間を創ります。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性能評価: 断熱等性能 等級3を確保します。</li> <li>・住戸は専有部が外皮に2面以上面する配置とし、採光・通風に配慮します。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府営堺三原台第2期高層住宅(建て替え)新築工事 J棟	BEE	BEEランク
	建設地	堺市南区三原台一丁3番1の一部	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 4,194.21 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
エネルギー削減	5	●●●●●
建物の断熱性	3	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.9	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0		
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0	3
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0		
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	